

岩沼支部だより

令和3年3月発行 第85号

副支部長あいさつ

初春の折、岩沼支部会員の皆様におかれましては平素より支部活動へのご理解、ご支援頂いています事を厚く御礼申し上げます。

今年度は、コロナの状況が落ち着かず、今まで活動してきた「看護のひろば」「まちの保健室」の開催も中止となりました。会員の皆様との交流がなかなか取れなかったことはとても残念に思います。

しかし、その中でも、岩沼支部として試行錯誤した結果、新たな活動に取り組むことが出来ました。FM岩沼というラジオ番組に出演し情報発信し、LINE ミーティングで教育講演を実施しました。初めての事で右往左往しましたが、苦境の中でも新しい発見、新しい試みに挑戦することが出来ました。今後、どのような状況に変化していくのか想像がつきませんが、皆さんと力を合わせて支部活動を盛り上げていきたいと考えます。支部活動へのご理解、ご支援のほどよろしくお願い致します。



宮城県精神医療センター 宮城県立がんセンター

藤田 享



今野 英子

ラジオ『FM岩沼』に出演しました！

令和2年12月4日(金)、佐々木支部長と教育委員の中山さんが地元コミュニティラジオ局「FM岩沼」に出演してきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年予定している「看護のひろば」「まちの保健室」等の看護協会の行事が中止となってしまったため、活動が行えませんでした。そこで、役員の中で考え、「まちの保健室 ラジオ出張版」と題し、FM岩沼さんの協力のもと看護協会岩沼支部からの情報発信を行いました。

当日は「コロナ禍での感染症対策」について、クイズ形式での台本を準備して生放送に臨みました。初の試みでしたが、有益な情報を視聴者の皆さんにお届けできていればなと願っています。



一般教育(講演会)開催しました 「認知症ケアについて知る」

令和3年1月16日(土)、総合南東北病院 認知症認定看護師の山田愛実先生を講師に迎え、「認知症ケアについて知る」をテーマにご講演を頂きました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、初の試みであるLINE ミーティングを用いたオンライン形式での開催となりましたが、のべ38名の皆様にご参加頂きました。

認知症の基本から応用まで、患者さんへの対応の仕方等も大変詳しくご講義いただき、今後のケアにとっても役立つ内容で、参加して頂いた皆さんに大変好評でした。

主催者側としても初めてづくしのオンラインでの講演会でしたが、コメント機能を使った質疑応答なども活用し、次回開催に向けた布石となる講演会となりました。



「令和3年度 宮城県看護協会岩沼支部通常総会」 についてのお知らせ

令和3年度の通常総会は、感染症対策として、新旧役員のみでの参加とし、例年行っている交流会も行いません。

紙面上での開催とし、令和3年度の議案・役員承認等も紙面での承認とします。

承認された内容に関しては、宮城県看護協会岩沼支部のホームページに掲載予定ですので、そちらでご確認下さいようお願い致します。

会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。